

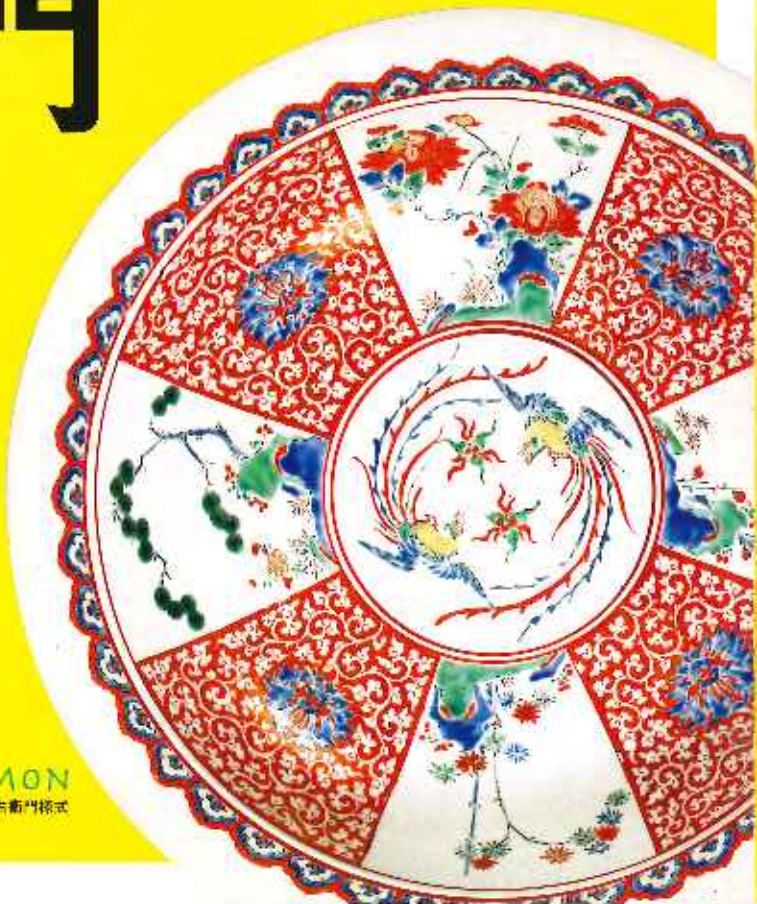
KO-KUTANI  
色絵輪文大皿 有田・古九谷様式

KO-KUTANI, KAKIEMON AND NABESHIMA  
The Beauty of Traditional Japanese Porcelain:  
Which is your favorite dish?

あなたの  
メインディッシュは  
どれですか？

NABESHIMA  
色絵宝文八角皿 鍋島様式

# 鍋島 × 柿右衛門 × 古九谷



2016 4.8 [金] - 8.30 [火]

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※会期中休館日なし  
入館料：一般・大学生 2,800円 小中高生 1,800円  
※団体割引(10名以上)・障害者割引あり  
※美術館ご利用の方は、駐車場・足湯入湯料無料

岡田美術館  
OKADA MUSEUM OF ART

KAKIEMON  
色絵松竹梅牡丹鳳凰文大皿 有田・柿右衛門様式



色絵宝文八角皿 鍋島南家(裏面)

あなたのメインディッシュは  
どれですか？

## 古九谷 × 柿右衛門 × 鍋島



色絵輪文大皿 有田・古九谷様式(裏面)

### 講演会

#### ①「日本陶磁との比較を通してみる中国陶磁の特質」

講師：今井 敦 氏(文化庁芸術学審議委員文化財課長)  
日時：2016年5月29日(日) 午後1時～午後2時30分

#### ②「菱田春草の絵画世界 ―岡田コレクションを中心に―」

講師：小林 忠(岡田美術館館長)  
日時：2016年6月26日(日) 午後1時～午後2時30分

#### ③「理想郷を描く ―古九谷の意匠世界―」

講師：荒川 正明 氏(学習院大学教授・前出光美術館学芸員)  
日時：2016年7月31日(日) 午後1時～午後2時30分

会場：5階ホール 参加費：無料(要入館料) 定員：先着80名

### 【お申し込み方法】

電話にてお名前・お申し込み人数・ご連絡先をお知らせください。  
定員に達し次第、応募を締め切らせていただきます。  
電話番号：0460-87-3931(岡田美術館代表)

### ギャラリートーク

#### ●館長によるギャラリートーク

毎月第2水曜日開催  
2016年4月13日、5月11日、6月8日、7月13日、8月10日

#### ●副館長によるギャラリートーク

毎月第4水曜日開催  
2016年4月27日、5月25日、6月22日、7月27日、8月24日

#### ●学芸員によるギャラリートーク

2016年4月15日～8月26日の毎週金曜日

いずれも午前11時～ 申込不要・参加無料(要入館料)

岡田美術館  
OKADA MUSEUM OF ART

〒250-0406 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1 TEL:0460-87-3931(代表)

### アクセス

《電車・バスをご利用の場合》

新宿駅 小田急線(特急ロマンスカー) → 箱根湯本 [約90分]  
箱根湯本 伊豆箱根バス(のりば①)・箱根登山バス(のりば②) → 小涌園 [約20分]  
小涌園 箱根登山鉄道 → 小涌谷 [約35分]  
伊豆箱根バス・箱根登山バス → 小涌園 [約2分]  
東京駅 東海道新幹線「こだま」 → 小田原 [約35分]  
小田原 伊豆箱根バス(のりば③)・箱根登山バス(のりば④) → 小涌園 [約40分]

《お車をご利用の場合》

東京都心IC → 小田原厚木道路 → 箱根IC → 国道1号線 → 岡田美術館 [約60分]  
東京都心IC → 国道138号線 → 宮ノ下 → 国道1号線 → 岡田美術館 [約40分]  
※所要時間は、交通状況によって大きく異なります。



KO-KUTANI, KAKIEMON AND NABESHIMA  
The Beauty of Traditional Japanese Porcelain:  
Which is your favorite dish?



色絵松竹梅牡丹鳳凰文大皿 有田・柿右衛門様式(裏面)

# 古九谷 柿右衛門 鍋島

あなたのメインディッシュは  
どれですか？

## 日本初の色絵磁器

中国の色絵技術を導入し、日本で初めて上絵付けを施すことに成功しました。白い磁胎に中国の赤絵などを手本として絵付けした祥瑞手や五彩手と、器全体に緑や黄色を塗り大胆にモチーフを描く青手とに分かれます。力強くエネルギーあふれる大皿は、宴のうつわとして重宝されました。

KO-KUTANI

## 古九谷



色絵花鳥文磁器 石田・古九谷様式



色絵萬年花鳥文磁器 有田・古九谷様式



色絵スベード文大皿 有田・古九谷様式

4.8[金]-8.30[火]

KO-KUTANI,  
KAKIEMON AND  
NABESHIMA

The Beauty of Traditional Japanese Porcelain:  
Which is your favorite dish?

江戸時代初め、肥前国(佐賀県)の山間の町・有田で日本初の磁器がうまれました。染付に始まり、やがて上絵付けを施した器が完成します。それが古九谷様式と呼ばれる器で、鮮やかな色と大胆なデザインが特徴です。この色絵磁器は、輸出用として柔らかな乳白色の磁胎をもつ柿右衛門様式へと展開し、ヨーロッパの人々を魅了しました。一方、佐賀藩の統制のもと、将軍や大名への贈答品である鍋島焼へと展開します。本展では、この古九谷・柿右衛門・鍋島の3つの様式に注目し、未公開の作品や新たに収蔵された作品を含め約70点を一堂に展示し、岡田美術館の肥前磁器コレクションの全貌を披露いたします。

## 柿右衛門

### 世界を魅了した赤

滲手と呼ばれる乳白色の素地に、明るい赤と柔らかな青、緑、黄色を使い、余白を活かして優美な意匠を描きます。壺や花瓶だけでなく人形も作られ、表情豊かな描写から当時の技術の高さがうかがえます。

ヨーロッパ向けの輸出品として人気を博しました。

KAKIEMON



色絵波草花散文美人壺 有田・柿右衛門様式



色絵花鳥文磁器 石田・柿右衛門様式



色絵舟渡景文磁器 有田・柿右衛門様式

## 鍋島

### 将軍への献上品

佐賀藩・鍋島家の直営の窯で作られた採算度外視の高級品です。最盛期は有田から離れ、山に囲まれた大川内山(現・伊万里市)で作られました。規格化された大きさ、深い見込みと高い高台が特徴です。丁寧な染付と赤・黄・緑の色絵で、献上品にふさわしい洗練されたデザインが施されています。

NABESHIMA

初  
お披露目



色絵牡丹文大皿 鍋島藩窯

初  
お披露目



色絵牡丹文皿 鍋島藩窯



色絵花鳥文皿 鍋島藩窯

同時開催

江戸食器の

華

# 古伊万里の世界

かわいい

たのしみ

なつかしい

ELEGANT EDO PORCELAIN : THE WORLD OF KO-IMARI

2016 4.8 [金] - 8.30 [火]

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）※会期中休館日なし  
入館料：一般・大学生 2,800円 小中高生 1,800円  
※団体割引（10名以上）・障害者割引あり  
※美術館ご利用の方は、駐車場・足湯入湯料無料

岡田美術館  
OKADA MUSEUM OF ART

同時開催

江戸食器の華

# 古伊万里の世界

かわいい

なつかしい

たのしい



ELEGANT EDO PORCELAIN : THE WORLD OF KO-IMARI

佐賀県の有田などを中心にして広く肥前地域で焼かれた磁器は、おもに隣接する伊万里港から出荷されたため「伊万里」と称されています。なかでも、江戸時代に焼かれた伊万里磁器が、「古伊万里」と呼ばれています。この古伊万里には、コバルトを顔料として白地に絵付けした染付磁器と、そこに鮮やかな赤や金彩など華やかな色絵具で装飾した色絵磁器（古伊万里様式ともいふ）があります。いずれも日常的な食器が多く、30センチを超える大皿や、中皿・碗・向付、猪口などが作られました。とりわけ12〜13センチ以下の小皿は、現代では「豆皿」とも呼ばれ、広く愛好されています。孔雀、鶴、蝶、フグ、あわび貝、牡丹、茄子などの生き物や植物の形をかたどったものや、遊び心あふれるデザインで人物や山水を描いたものなど、見るだけでも楽しくかわいらしい作品が大いに人気を博しています。

本展では、これまでごく一部しか展示されなかった岡田美術館の古伊万里コレクションより、魅力的なデザインの染付と色絵の作品群を一堂にご紹介いたします。同時開催の「富裕層向けの高級な「ハレ」のうつわ（古九谷・柿右衛門・鍋島）」とは異なる、日常使いのうつわ・古伊万里の世界をお楽しみください。

**岡田美術館**  
OKADA MUSEUM OF ART

〒250-0406 神奈川県足柄下郡箱根町小涌谷493-1  
TEL:0460-87-3931 (代表)



- ① 染付文皿
- ② 染付紅葉松平飯立皿
- ③ 染付紅葉文皿
- ④ 染付牡丹文輪花皿
- ⑤ 染付紅葉文飯形皿
- ⑥ 青磁文鉢
- ⑦ 染付松竹文鳥文輪花皿
- ⑧ 染付文猪口